

参加費無料

令和6年度 西尾張ブロック ボランティアフェスティバル

～普段の活動のつながりを災害時に生かすには～

令和7年は阪神淡路大震災から30年を迎えるにあたり、改めて災害に備えるための気運を高めるために、災害に関する知識を学び、自分事と捉え、自分たちの日常生活やボランティア活動において、平時の多様なつながりや活動から何ができるかを考えるきっかけとなることを目的に開催します。

日時 令和7年2月15日(土)13:30～16:00

受付 13:00～

会場 アテリア総合体育文化センター 岩倉市鈴井町下新田123番地

プログラム

■ 開会式 13:30～13:45

■ 能登半島地震派遣職員の活動報告 13:50～14:15

報告者 江南市社会福祉協議会職員、一宮市社会福祉協議会職員

■ 講演会 14:25～15:45

テーマ 温故知新で南海トラフ地震を乗り越える

講師 名古屋大学 名誉教授

あいち・なごや強靱化共創センター
センター長 福和伸夫 氏

プロフィール

地震工学・建築耐震工学に関わる教育・研究に携わる傍ら、防災・減災活動を実践。

国や自治体の防災施策に関わると共に、啓発・教育の場作りや教材作りを通し災害被害を軽減する国民運動に注力。近年は、産業防災や災害医療にも関わる。

日本建築学会賞や防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞。



【定員】15名（稲沢市の定員枠）

【申込】参加希望者は1月19日（日）までに
専用申込フォームにて申し込みください。
※定員を超えた場合は抽選となります。

申込はこちら



■ 閉会式 15:50～16:00

※今年度は例年岩倉市と共催で開催している災害ボランティア講座と同時開催で行います。

主催 令和6年度西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会

西尾張ブロック14市町村社会福祉協議会

一宮市、津島市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、弥富市、あま市、
大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村

共催 岩倉市

後援 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

問合せ先 社会福祉法人岩倉市社会福祉協議会 TEL0587-37-3135 FAX0587-38-0039